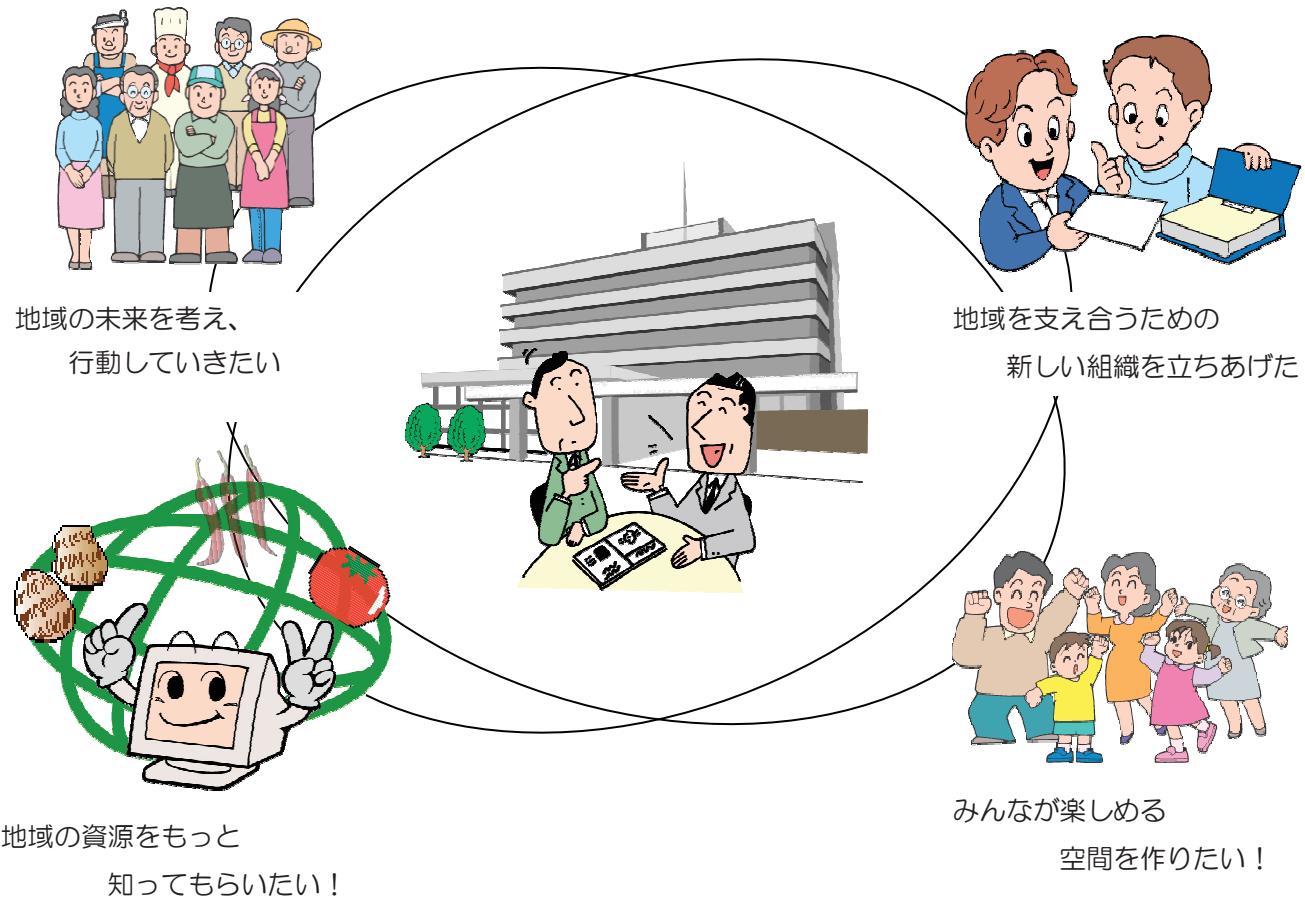
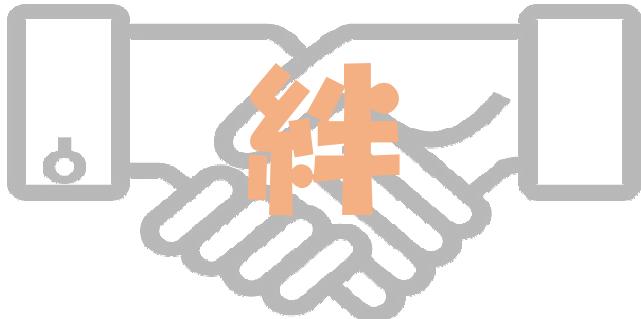


令和2年度 がんばる地域サポート事業 活動事例集



中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線326)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津南	四ツ目川の桜と環境の会	四ツ目川の桜と環境の整備事業	福田 雅廣	2
2	中津南	中村区NMR23	中村区 マロンパーク商店事業	足立 稔	4
3	中津南	中村区子育てサロン	中村区 子育てサロン事業	足立 稔	6
4	中津西	手賀野諏訪太鼓保存会	手賀野諏訪太鼓保存会事業	原 元之	8
5	苗木	苗木城跡・苗木遠山史料館友の会	苗木城跡を核とした苗木の歴史伝承事業	傍島 善雄	11
6	坂本	坂本をもっと盛り上げよう会	中山道を歩く目線で楽しめる内容の看板を立てる事業	篠原 郁郎	13
7	坂本	坂本交番友の会	犯罪のない安心・安全まちづくり事業	可知 忠勝	16
8	坂本	命をつなぐ森づくりの会	命をつなぐ森づくり事業	田中 孝一	18
9	落合	落合のすばらしさを後世に伝える特別委員会	落合のすばらしさを後世に伝える事業	飯森 修	21
10	阿木	おもてなしの里阿木	イベント・お祭り紹介プロジェクト事業	三宅 秀雄	23
11	坂下	charm mates（チャームメイツ）	坂下 花いっぱいプロジェクト事業	桂川 容子	25
12	広域	みやさか活性化協議会	みやさか（神坂・山口・坂下・川上）花街道整備事業	安江 貞夫	27
13	川上	川上もみじ守り隊	県下一のもみじの里を目指す活動事業	鎌田 康三	30
14	加子母	加子母農林泊推進協議会	加子母再見トレッキングツアー事業	内木 篤志	35
15	付知	BLACK BEE CLUB	ハイバチで地域づくり～食文化を次世代に繋ぐ～事業	早川 利廣	38

(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	よつねがわのさくらとかんきょうのかい	地域名	中津南 実戸		地区
	四ツ目川の桜と環境の会	会員数	14 人		
ふりがな 代表者名	ふくだ まさひろ	延べ 参加人数 内(会員数)	136 人(89 人)		
	福田 雅廣		・草刈り、枯枝切除、カビ取り:96人(50人) ・施肥:10人(10人) ・見回り・安全チェック:6人(6人) ・リース寄贈、会議、その他:24人(23人)		
事業名	四ツ目川の桜と環境の整備事業	実施期間	令和2年6月1日から 令和3年3月6日まで		
総事業費 内(補助金額)	227612 円 (200,000 円)				
事業分類	番号 ①	活動分野 ①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	番号 ③		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つその他、地域づくりの課題に寄与する事業				
<p>事業の目的</p> <p>四ツ目川の桜は、植林されてから70年を超え、老木化して元気もなく、また、手入れが行き届かなかった為「つる草」が巻き付いて幹が締め付けられて桜の木も弱り、雑草も生え放題で景観も悪化していました。そこで、桜の木を守り、景観を良くし、環境を整えて地域の安心・安全確保に貢献し、みんなに親しまれる桜並木の回復を図り、住み良い地域づくりに寄与することを事業の目的としております。</p>					
<p>具体的な活動内容</p> <p>具体的には、主に次のこと取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道具収納庫の設置(7月) ②四ツ目川の桜への施肥(6月) ③四ツ目川の桜の枯れ枝切除、及び堤防と河川敷の草刈りの実施(6、10、2、3月) ④四ツ目川の桜の見回りの実施(7、8月) ⑤「四ツ目川の桜と環境の会だより」を随時発行し、区民への啓発の実施 ⑥桜に巻き付いた「ツル」を採取して「クリスマスリース」を作成し、地元の幼稚園へ寄贈(11、12月) 					
事業内容	主な活動の流れ				
	草刈り① 草刈り②と 枝打ち① 桜への施肥	道具用の物 置設置 桜の幹のカビ 取り	草刈り③と 枝打ち② 見回り・安全 チェック②	クリスマス リースの寄贈	草刈り④と 枝打ち③
	5月	7月	9月	11月	2月
<p>具体的な活動成果(失敗や苦労したことなどもご記入ください。)</p> <p>過去2年間で四ツ目川の実戸区内の流域について、整備が一巡したので、今年度は整備が不十分であった中流域と下流域の整備に取り組んだ。 朽ち落ちる危険のある枯れ枝の切除や、幹を締め付けているツルを取り除く作業は、思いのほか大変であった。 採取したツルを利用してクリスマスリースを作成し、下さる方がみえたので、出来上がった直径70cmほどの大きなりースを南さくら幼稚園と市立南幼稚園へ寄贈し、地域の絆づくりに貢献できた。</p>					
<p>今後の展開(自立に向けた活動)</p> <p>会員や協力者のモチベーションを高め、活動を継続して行く為に、地域の安全・安心の更なる確保と、みんなに親しまれる桜並木を目指し、次の課題に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 桜並木の整備を継続し、「四ツ目川クリーンパートナー事業」と連携して取り組む。 2. 急斜面等の危険個所については、専門事業者に委託することも試行する。 3. 多くの方に四ツ目川の桜を親しんでもらうため、桜の満開時期には「ライトアップ」に挑戦する。 4. 行政の所管部署とも連携して、四ツ目川と桜並木の歴史を伝えるような方策を検討する。 					
<p>*この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください</p>					

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

桜の根先への施肥・・・グリーンパイルの打ち込み



桜に巻き付いたツルを 除去する作業



整備前の桜と参加者



ツルを取り除く様子

採取したツルで製作したクリスマスリースを 幼稚園へ寄贈（↓恵峰ホームニュース記事）

けいほうホームニュース

〔3〕令和2年12月5日（土曜日）

「四ツ目川の桜と環境の会」が
クリスマスリース贈る
環境整備活動で採取したツルで制作
中津川市中津川実戸 催する四ツ目川環境整備作業に参加。その
区の有志でつくる「四ツ目川の桜と環境の会」（福田雅廣会長）
が、四ツ目川沿いの桜と河川敷の環境整備活動で採取した葛などの
ツルでクリスマスリースを作り、南さくら幼稚園に贈りました。

中津川市中津川実戸 催する四ツ目川環境整備作業に参加。その
区の有志でつくる「四ツ目川の桜と環境の会」（福田雅廣会長）
が、四ツ目川沿いの桜と河川敷の環境整備活動で採取した葛などの
ツルでクリスマスリースを作り、南さくら幼稚園に贈りました。

「四ツ目川の桜と環境の会」が
クリスマスリース贈る
環境整備活動で採取したツルで制作
中津川市中津川実戸 催する四ツ目川環境整備作業に参加。その
区の有志でつくる「四ツ目川の桜と環境の会」（福田雅廣会長）
が、四ツ目川沿いの桜と河川敷の環境整備活動で採取した葛などの
ツルでクリスマスリースを作り、南さくら幼稚園に贈りました。
中津川市中津川実戸 催する四ツ目川環境整備作業に参加。その
区の有志でつくる「四ツ目川の桜と環境の会」（福田雅廣会長）
が、四ツ目川沿いの桜と河川敷の環境整備活動で採取した葛などの
ツルでクリスマスリースを作り、南さくら幼稚園に贈りました。



リースが作られた経緯を説明し、サンタクロースやブーツなどたくさんの飾りが付いた直徑70cmほど
のリースを園児に手渡しました。

当時は福田会長ら4人の会員が園を訪問。

写真。

桜周辺の草刈り作業



(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかむらくえぬえむあーる23	地域名	中津南 地区	
	中村区NMR23		中村区 21人	
ふりがな 代表者名	あだちみのる	延べ 参加人数 内(会員数)	人(延べ198 人)	
	足立 稔		198名(栗園営業14日間) 11月6斎市での販売	
事業名	中村区マロンパーク商店			
総事業費 内(補助金額)	302,888 円 (200,000 円)	実施期間	20 20 年 6 月 1 日から	
			20 21 年 3 月 1 日まで	
事業分類	番号 2	活動分野	番号 7	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つその他、地域づくりの発展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	

事業の目的

高齢者の生きがいとして他人とのつながりが有りそんな中で、中津川市マロンパーク栗園来園者が多くは市外県外の方です。
1時間程度のクリッピング楽しまれ帰られ、そんな中もっと地元栗PRで楽しんで頂きたい思いと高齢者の活躍出来る場の提供から栗園とタイアップして栗園の栗と地元産モチ米を使った”栗おこわ”を園内で販売、PRを行う。

具体的な活動内容

- ①具体的商品(栗おこわ)の仕様について検討…昨年の好評を受け継続する
- ②製造場所に付いて保健所への問い合わせ、立ち合い検査確認
- ③栗おこわ試食会実施…品質安定化に向け全員で各工程の勉強会(一紙に作業内容掲載)
- ④栗園テント設営、テント内準備
- ⑤にぎわいプラザ内販売に向け準備
- ⑦販売拡大に向けアイデア出し

主な活動の流れ

事業内容	4月	6月	8月	営業申請	栗園開園・商品販売	6斎市での販売
				試食会	反省会	9/5.6.12.13.19.20.21.22.26.27.営業
						10/3.4.10.11で営業
	4月	6月	8月	10月	12月	2月

具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなど記入ください。)

- ①栗園でのおこわ購入者の1割程度はリピーター(昨年購入して美味しかった声が伺えた)
- ②メンバーでシフトを組み7時30分出勤(クラブへ)でも、弁当持参で昼食後の時間で笑いが増えた。
- ③新型コロナウイルス拡散防止で栗園入場が予約制となり販売数が読めなく”栗おこわ”製造数の読みで苦労した。
- ④商品「栗おこわ」が売り切れにしても追加製造出来ずお客様から小言有り
(餅米の仕込みが前日で即対応は出来ない)
- ④野菜販売が出来ず

今後の展開(自立に向けた活動)

- ①メンバーの中から野菜販売頂き集客UPを図る。
- ②平日営業に向け、栗園との連携して観光バスお客様へのPR販売を図り販路拡大。
- ③メンバーの増員

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



2年目に向け内容検討
容量、容器、価格、ラベ

1回目の検討内容から容器
容量を変えて見栄え等全
員で検討



テント前で売るための策で
PR展開
(昨年来て購入美味しかっ

今年全員で揃えたユニ
フォームテント前で



他地区から活動の様子の
見学を受ける

6斎市での販売

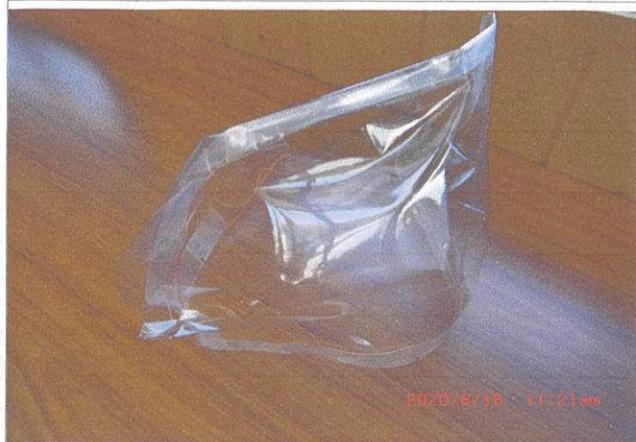


(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

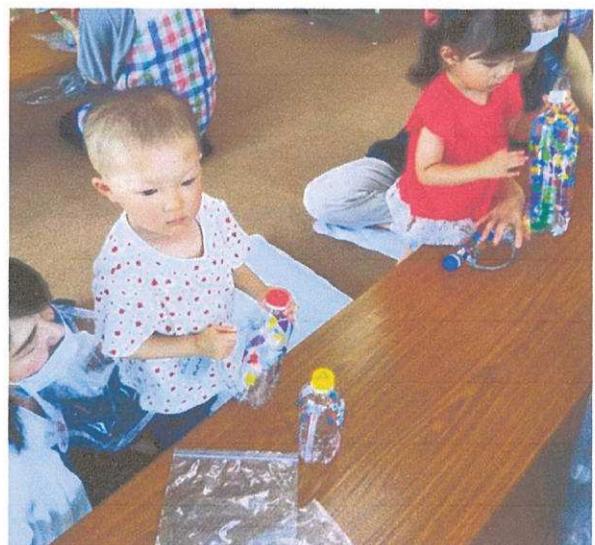
ふりがな 団体名	なかむらくこそだてさろん	地域名	中津(南)		地区	
	中村区子育てサロン		会員数	25 人		
ふりがな 代表者名	あだち みのる	延べ 参加人数 内(会員数)	人(28 人)			
	足立 稔		6/16~8名 7/21~20名			
事業名	中村区子育てサロン					
総事業費 内(補助金額)	100,336 円 (100,000 円)	実施期間	20 20 年 6 月 1 日から			
			20 21 年 3 月 16 日まで			
事業分類	番号	①	活動分野	番号	①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業	①健康・福祉				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業	②生活安全				
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業	③環境				
	④観光・交流					
	⑤農業					
	⑥林業					
	⑦商業					
	⑧工業					
	⑨教育					
	⑩文化・生涯学習					
	⑪その他					
事業の目的						
若い母親への子育てサロン参加により、経験豊富な指導者がアドバイスする中で母親のストレス解消を図る、加えて幼児同士で遊ぶ中で集団行動が出来る子供を育てる。						
具体的な活動内容						
<p>①毎月1回中村クラブにて2~3時間サロンを開催する。 ②季節(七夕・お月見・運動会・クリスマス・節分など)に合わせて簡単工作で時期を感じてもらう。</p>						
事業内容	主な活動の流れ					
	*コロナ拡散防止で中止					
	*	16日:	*	*	*	*
		21日:				
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなどもご記入ください。)					
	<p>新型コロナウイルス拡散防止(緊急事態宣言等発令)の為中止せざる事が多く準備しては中止となる事が多く、初回開催月などは簡易でフェイスマスクまで製作準備を進める。 参加子供の触れた遊具等の除菌作業が多く気苦労が多い。</p>					
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>① 現在4名の運営リーダーを増やし、一人一人の負担を軽減して活動の継続化を図る。 ② 季節性を感じる内容の取り込み。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



自作の簡易フェイスマスク



毎回スタッフで活動内容検討会

フェイスマスク着用で手遊び作り



小グループで雑談
交えて情報交換等

親子で作成風鈴



近くの保育園との交流会
中村区のスタッフの寸劇状況

(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

団体名 ふりがな	てがの すわたりこほんかい		地域名	西地区	
	手賀野諏訪太鼓保存会		会員数	12人	
代表者名 ふりがな	はせ もと ゆき		延べ参加人数	4人(12人)	
事業名	手賀野諏訪太鼓保存会		内(会員数)		
総事業費 内(補助金額)	343645 円 (200000 円)		実施期間	2020年4月1日から 2021年3月10日まで	
事業分類	番号 3		活動分野 番号	10	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		

事業の目的

手賀野諏訪太鼓保存会を立ち上げ手賀野地域の伝統的な文化をつくる

具体的な活動内容

- 西地区、手賀野地区に手賀野諏訪太鼓保存会の設立を周知する…広報紙「私たちの西地域創刊号」で紹介
- 手賀野諏訪太鼓の調査・研修道場の視察、
- 購入した長胴太鼓の披露、
- 準備会時の手賀野敬老会での演奏、

主な活動の流れ

事業内容	立ち上げ			調査・道場視察		太鼓の購入
	4月	6月	8月	10月	12月	2月

具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなどもご記入ください。)

準備は進んだが、コロナ感染防止にため、練習・研修、イベントでの活動ができなかった

今後の展開(自立に向けた活動)

コロナの収束を見ながら活動を再開して行われるイベントの参加したい

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



今年度購入した大太鼓



前年毛賀野地区敬老会で演奏・毛賀野諏訪太鼓保存会準備会

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎじょうあと なえぎとおやましりょうかんとものかい	地域名	苗木	地区								
	苗木城跡・苗木遠山史料館友の会											
ふりがな 代表者名	そばじまよしお	会員数	77	人								
	傍島善雄											
事業名	苗木城を核とした苗木の歴史伝承事業	延べ 参加人数 内(会員数)	246	人(
			4月27人 5月18人 6月13人 7月22人 8月13人 9月34人 10月22人 11月18人 12月21人 1月18人 2月40人)								
総事業費 内(補助金額)	609,741 円	実施期間	2020年4月9日									
	(200,000 円)		2021年3月4日									
事業分類	番号	2	活動分野	番号	4							
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流										
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業	⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育										
	③前の二つとの他、地域づくりの親展に寄与する事業	⑩文化・生涯学習 ⑪その他										
事業の目的												
苗木城は近年、テレビ・新聞などで取り上げられる機会が増え、注目度が上がっています。しかし、地元ではまだまだ関心度が低いのが現状です。友の会では苗木城跡を核として、苗木の歴史を伝承したいと考えています。												
具体的な活動内容												
1年目 苗木地区・苗木城跡を中心として、歴史的遺跡の案内及び説明用看板の設置 2年目 小・中学生向きの、かるたの制作 紙芝居づくりの用意 3年目 小・中学生向きの苗木城跡パンフレットの作成 紙芝居づくり												
令和2年度(2年目)の活動 <input type="radio"/> かるた読み札PC入力 <input type="radio"/> かるた取り札づくり (絵の依頼・絵の作者への説明・現地案内→かるた印刷) <input type="radio"/> 紙芝居のストーリーづくり												
事業内容	打合せ日	9・27	10・14	11	16・17	13	8・10	8・21	12・25	4・10	14・22	11・17
	PC入力					←	→	読み札づくり	カルタ解説書・地図づくり			
	絵の制作					←	→					
	印刷					←	→					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなどご記入ください。)											
<input type="radio"/> 2年計画の「苗木城かるた」300セットの完成。 <input type="radio"/> 読み札・取り札づくりに、多くの人に参加して頂きました。 <input type="radio"/> かるたの解説書・地図・箱のシール貼りなど友の会の手作りで制作出来ました。 <input type="radio"/> 令和3年度計画の紙芝居のストーリーの完成。「遠山友政物語」 <input checked="" type="radio"/> かるたの絵の制作者は、3人の方々でした。予定では、参加人数が多いと予想していましたが、少人数で、苦労をかけてしまいました。												
今後の展開(自立に向けた活動)												
<input type="radio"/> かるた200セットの販売 (宣伝方法の検討)。 <input type="radio"/> かるた大会を計画し、苗木の歴史伝承事業を実現する。学童保育で計画(出前授業)。 <input type="radio"/> 「かるた大会と苗木城宝探し」をセットにした企画の実行。 <input type="radio"/> かるた大会を要請されたら、どこでも参加する(各地域・子供会等)。 <input type="radio"/> 紙芝居・苗木城子供向けパンフレットを完成する。												

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

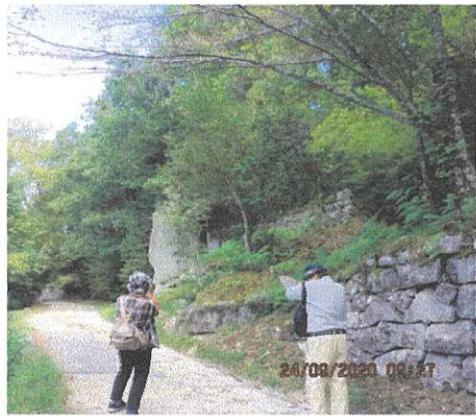
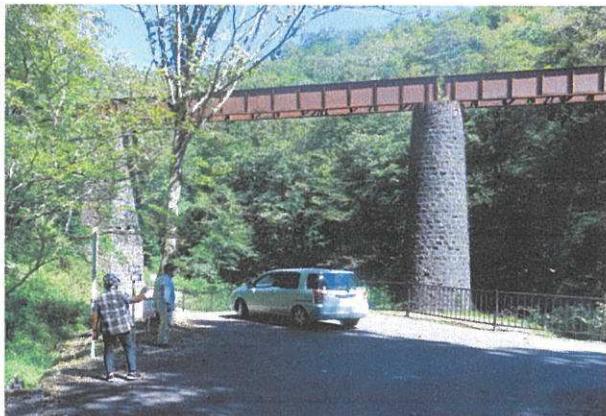
活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



2020年5月紙芝居の台本の相談



2020年9月史料館にて



2020年9月 絵の制作 現地案内



苗木城かるた

解説書

発行にあたって

苗木城跡は国の史跡指定を受けた戦国時代からの山城です。近年、絶日本の百名城の指定や山城日本一のランク付けなどがなされ、令和元年には来場者は15万人に達するなど大変人気が高まっています。

そこで苗木城跡・苗木遠山史料館友の会は苗木城や苗木の町のことを探して欲しいと「苗木城かるた」を作らせて頂きました。

和歌詞の文と楽しい絵の組み合わせで企画致しましたが、50人以上の方から40首の応募があり、絵については地元の方々からの力作が描い、心から感謝しております。

皆さんに何度も何度も楽しんで頂きながら、苗木のお城や町について学び、好きになって下さることを願っています。

苗木城跡・苗木遠山史料館友の会

2021年1月 カルタ印刷の相談

2021年1月 カルタ解説書づくり

(R2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとをもっともりあげようかい	地域名	坂本		地区	
	坂本をもっと盛り上げよう会		会員数	6	人	
ふりがな 代表者名	しのはら いくろう	延べ 参加人数 内(会員数)	74 人(74 人)			
	篠原 郁郎					
事業名	中山道を歩く目線で、楽しめる内容 の看板を立てる事業					
総事業費 内(補助金額)	222,068 円 (200,000 円)	実施期間	令和2年 5 月 28 日から 令和3年 3 月 15 日まで			
事業分類	番号 ③ ①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つその他、地域づくりの親睦に寄与する事業		活動分野	番号 ④ ①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的						
<p>早期の建設を目指して作業を進めることを目指しました。(図案を会議に上程し評価を加えながら進めました。)</p>						
具体的な活動内容						
<p>昨年度に引き続き案内看板の制作と現地への設置作業を続行しました。案内看板は、過去から地域内の主な名所旧跡の内、中山道筋とその界隈のポイントを決めました。完成した看板の最初の1ヶ所を、中津川市の所有地である、将監塚に選定し、市の文化振興課や支所の方々の立会を戴き、中日新聞の取材を得て、内外へのPRも行いました。</p>						
主な活動の流れ						
事業内容	<p>→図案制作の続行</p>					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなどもご記入ください。)						
<p>実際の作業を目指しましたが、各作業の流れの中で、文章や表現などの変更や、多忙な中での作業が遅れ、相当苦労しました。出来上がった看板はかなりきれいで満足度の高い物に仕上がったと自己満足しています。大きな問題点は、県道部分の許可が下りなかつた事で、落胆と方針転換をするのに時間を要しました。今年度中に11か所すべての建設を終了できる見通しが立っています。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>ホームページへの掲載は、まち協へのお願いをしましたが、残念ながら、当方の遅れで今年度中には出来ませんでしたので、来年度に持ち越しとなってしまいました。別に検討中の「個別看板」も準備中です。落合地区との、調整が出来た、統一性のある色見本も出来、将来に亘って、坂本地内の紹介看板を作り続ける予定で、計画中です。今年度のまち協様のご支援に感謝申し上げ、来年度のご支援もどうぞよろしくお願ひいたします。</p>						
<p>※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください</p>						

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

編集会議



完成した看板



小石塚に立てる



将監塚に立てる



中日新聞の取材



中津川の坂本地区文化遺産保存会 案内看板設置進む



新しい中山道の案内看板を設置した
篠原さん(左)、中津川市千白林で

歴史と魅力を感じながら中山道歩きを楽しめるよう
に、中津川市の坂本地区文化遺産保存会が、沿道の
史跡や名所を紹介した「オーキングマップ型」の案内看
板を立てる作業を進めている。英語の説明も入ってお
り、用意した「千枚余をまつ木本まで」に設置。コロナ
禍の収束後も見据え、外国人を含めた来訪者が散策し
やすい環境を整える。

(福本雅則)

コロナ収束後見据え外国人にも優しく

同地区を通る中山道は五ヶ
治天皇が休んだ庄屋の篠原家
をはじめ、道沿いには往時を
しのばせる建物や石碑も残
る。以前に設けた地図や史跡
の案内看板を見つくるなるな
どしたため、保存会は「〇一
九年度から市のがんばる地域
サポート事業補助金を受け、
三年がかりでの更新を計画し
てきた」。

新しい看板は、全体を七百
メートルずつの十区間に分割
し、絵入りの地図を示す昔の
表現に倣つて、令和版坂本地
区分間経図と銘打った。主な
歴史的建物や石碑のイラスト
に簡単な説明を添えて紹介し
ており、コインによる公共施設
の情報、恵那山や笠置山など
のピューポイントも加えた。
東の中津川方面、西の恵那
市方面のどちらに向かう場合
でも、次の看板がある区间ま
でを把握やすい工夫も凝ら
した。両端以外の九ヵ所は、
青い矢印の東向き矢印と、西
向きの看板を並んで取り付け、同じ色の矢印を看板
の番号に従つて進めば、坂本

中山道歴史と魅力 案内看板設置進む

東濃



建設 (C)
中部二科会 田村一男
(大垣市中川町)

多治見支局

〒507-0037

多治見市音羽町4-39

0572(22)3121

Fax (23) 5331

恵那通信局

0573(26) 2525

Fax (26) 5209

中津川通信局

0573(66) 1246

Fax (62) 0108

可児通信部

0574(62) 1501

Fax (61) 0270

岐阜支社

〒500-8875

岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地

058(265) 0191

Fax (262) 8706

(販売) (265) 0265

(広告) (266) 4791

(事業) (265) 0267

笑顔の
明日

**美術品
高価買受**
(秘密厳守)

版画 絵画

掛軸 陶器

無難鑑定 出張いたします
あるのも買つものも
何でもご相談下さい

カーリー美術館

株式会社

052-0120

14-5448

岐阜市本庄町1丁目37-3

(県美術館東へ200m)

記者の#つつぶやき

看板の中には、地区内に
駅と車両基地が設けられる
リニア中央新幹線の説明も
盛り込まれています。昔の
旅をしのばせる里塙や石
碑とのコントラストが、中
山道を歩く楽しさに魅力を
加えそうです。



(令和2)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとこうばんとものかい	地域名	坂本		地区
	坂本交番友の会	会員数	63		人
ふりがな 代表者名	かちただかつ	延べ 参加人数 内(会員数)	543 人(63 人)		
	可知 忠勝		・役員会・理事会14回 95人 ・防犯パトロール 72回 225人 年2回 26人 ・子どもの見守り 5回 59人 研修事業 2回23人 ・清掃活動 2回 64人 ・振込め詐欺防止啓発活動4回 51人		
事業名	・犯罪のない安心・安全まちづくり事業				
総事業費 内(補助金額)	242,507 円 (200,000 円)	実施期間	2 年 5 月 28 日から	3 年 3 月 12 日まで	
事業分類	番号	①	活動分野	番号	②
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業	①健康・福祉		②生活安全	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業	③環境		④観光・交流	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業	⑤農業		⑥林業	
事業の目的 ・防犯パトロール、子どもの見守り、振込め詐欺防止啓発等の防犯活動の向上を図るために防犯ボランティアマニュアルブック、防犯手帳等を配布し会員の意識を高める。					
具体的な活動内容 ①年間をとおして学校や駅前周辺の防犯パトロールを週3日(月、木、金)実施。ただし、春休み、夏休み、冬休みは除く。 ②子どもの見守り活動…春休み、夏休み、冬休みの長期休業日前日と終了日翌日の集団下校時と不審者の声かけ発生に実施。 ③清掃活動…11月の第4日曜日に坂本交番・地域安全情報センターを理事全員で清掃。2月の第4日曜日には、会員全員の坂本交番・坂本事務所・坂本 駅前周辺と深沢と馬見までの市道を清掃活動を実施。 ④振込め詐欺防止啓発活動…年金支給日に郵便局・JA坂本支店・パローホームセンターATMで実施。(今年度4回実施)。 ⑤放置自転車撤去関係…坂本駅前駐輪場の放置自転車の調査と撤去を年2回実施。(6/15 7/26 12/10 2/3) ⑥研修事業…県の安心・安全大会に参加と理事会での「中津川市の犯罪について」中津川署の担当者による研修を実施。(9月、10月)					
主な活動の流れ <ul style="list-style-type: none"> ● 4役役員会・理事会の開催 → ● 防犯パトロール週3日間(年間) → ● 振り込め詐欺防止啓発活動(6月、10月、12月、2月) → ● 子どもの見守り活動(4月、8月、12月、2月) → ● 清掃活動(11月・2月) → ● 放置自転車の撤去(年2回 調査と撤去4日間) → 					
事業内容	4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果(失敗や苦労したことなどもご記入ください。) 令和2年度は新型コロナ感染拡大もあり、総会や各種活動が計画どおり実施できませんでした。防犯パトロールは、時間を短縮し実施。緊急子ども見守り隊の打ち合わせは、中止しました。令和元年度は当会結成10年にあたり、これまでの活動を振り返りて見ることとし、記念誌を発刊しました。その中で、子ども見守り部会、防犯パトロール部会を結成したらどうかとの意見あり、今までの活動を見直しが必要との結論に達しました。そのため、令和2年度は活動の基本となる規約の見直し、令和3年度に改正を行います。防犯パトロール活動を再認識してもらうよう防犯ボランティア活動マニュアル等を配布し、会員の防犯活動の意識高めるよう勧めました。					
今後の展開(自立に向けた活動) 防犯活動の基本となる規約の改正を行い、防犯事業の見直しを行いたい。防犯パトロール巡回箇所や子どもの見守り箇所や回数等の見直しを行いたい。特に、子どもの見守りについては部会を設置し、活動方法を学校と連携して検討してもらう。 会員の高齢化が進んでいるため、65歳～70代の人が会員になってもらうよう勧誘をすすめたい。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



・会員による一斉清掃参加者
44名ゴミ袋10袋集めました。
年々参加者は増えています。



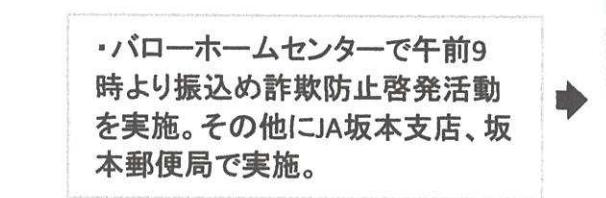
・4役員による防犯ボランティア活動マニュアル等を会員に配布する準備作業。



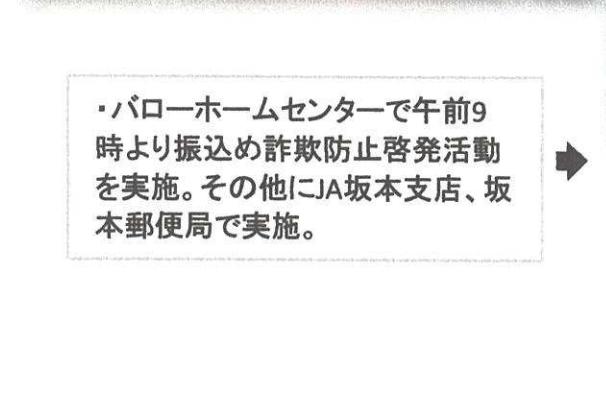
・坂本駅前駐輪場の放置自転車調査。交番の警察官の立会いで実施。(2/3は10台撤去)



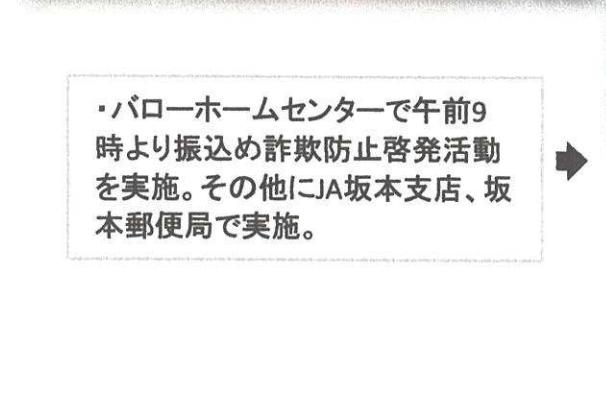
・交番長による坂本での犯罪事案等を理事会で報告の様子。



・防犯パトロールの様子。
(学校の長期休業日を除いて、
月、木、金に実施)



・パローホームセンターで午前9時より振込め詐欺防止啓発活動を実施。その他にJA坂本支店、坂本郵便局で実施。



17

令和2年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	いのちをつなぐもりづくりのかい 命をつなぐ森づくりの会	地域名	坂本	地区
ふりがな 代表者名	たなか こういち 田中 孝一	会員数	9	人
事業名	命をつなぐ森づくり	延べ 参加人数 内(会員数)	189 人(16 人)	めぐみ保育園 にしこまの森こども園 坂本さくら保育園 坂本こども園の年長園児 100名 杉の子幼稚園年中園児 69名(自園車使用) 中津川保育園年長園児20名(市所有通園バス使用) その他園外保育として杉の子幼稚園年少・未満児が訪れる自然とふれあう。
総事業費 内(補助金額)	202,851 (200,000) 円	実施期間	令和2年 4月 1日から 令和2年 12月 15日まで	

事業の目的

2016年に閉鎖されたゴルフ場跡地を、敷地所有者と地元の園児が協同して自然の森に還す活動を2018年から始めました。敷地内で様々な種類のどんぐりを拾い、芽吹かせ、数年かけて大きくなった苗木を植樹します。園児がこの活動を経験することにより「命をつなぐ」ことを学び、自然に触れあうなかで命の大切さを知り、心豊かに成長してくれることを願っています。また、園児が成長した時に、自分が植えた木々が大きくなって、人々や森の動物たちの憩いの場所となっていましたら大きな喜びを感じ、郷土愛をさらに増してくれることだと思います。

具体的な活動内容

坂本地域の子供が主に通園する4ヶ所の保育園・こども園と、参加希望のあった2園が3日間に分けて活動した。①敷地の説明、森に還すことの大切さの説明 ②敷地内でどんぐり拾い ③拾ったどんぐりをポットに蒔く(ポットの管理は銀の森が行い、ポット1個と拾ったどんぐりは各自園に持ち帰る) ④自然のなかで昼食 ⑤森やどんぐりに関する絵本の読み聞かせ ⑥敷地内を散策
*森の恵みの活用…今年度は松ボックリで作るクリスマスツリーを6園の年長園児が経験した。

主な活動の流れ

事 業 内 容	参加希望園の募集と実施予定日聞き取り	3日間に分けて実施 10月14日杉の子幼稚園 16日めぐみ保育園ほか2園 23日坂本こども園ほか1園			
	貸切バスの予約	松ボックリで作るクリスマスツリー6園で実施			
	スケジュール調整	警備、読み聞かせボランティア依頼			
	4月 6月 8月 10月 12月 2月				

具体的な活動成果 (失敗や苦労したことなどご記入ください。)

毎年、各園では園児を連れてどんぐり拾いに出かけますが、道中の交通事故の心配や、拾う場所を探すのに苦労しているとのことです。本活動のフィールドではそうした懸念がなく、園児が安心してどんぐり拾いを楽しめ、自然にふれあえると好評です。昨年参加してくれた5園のほかに、本年は中津川保育園が加わり6園となりました。今回は小雨の日もあり、なんとか園児が心待ちにしているドングリ拾いを行うことが出来ましたが、実施日が大雨などになった場合の具体的な対応を考える必要があると思っています。

今後の展開(自立に向けた活動)

植樹した木々が成長して、人と自然が共生できる憩いの森になるまで活動を継続して行きたいと思いますが、活動資金を継続して確保できるのか懸念されます。自園で交通手段を確保できる園のみが参加する活動ではなく、坂本地域の園児が等しく参加でき、自然を楽しめ、学習できるものとしたい。さらには、坂本地域以外の希望する園を受け入れる体制も敷地所有者と協議しながら整えていきたいと思います。

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

2020年 命をつなぐ森づくり 活動写真

貸切バスで到着



森づくり専任者2名



記念写真撮影



ドングリ拾い



ポットにドングリを蒔く



森に関する絵本読み聞かせ(あぶくたつたの会)



昼食



敷地内の散策



* 坂本こども園・中津川保育園は悪天候のため散策できず、松ボックリで作るクリスマスツリーの下準備をする



松ボックリクリスマスツリー
サンプル

